

Weekly Bulletin 2018-2019



RI会長
バリー・ラシン



BE THE INSPIRATION

静岡東ロータリークラブ
会長/杉田至弘 幹事/川口尚宜

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611
例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
杉田至弘

第 2876 回例会

平成 30 年 10 月 25 日 天候 晴

- 《司 会》 川口 尚宜 君
- 《合 唱》 「静岡東ロータリー」
「手に手つないで」
- 《BGM》 「BACH」
EMMANUEL PAHUD
- 《ゲスト》 米山記念奨学委員 寺戸 常剛 様
- 《ピジター》 なし
- 《米山功労者表彰》
由利 浩志 君、古橋 剛俊 君

《本日のお祝い》
お誕生日 結婚記念日
10月26日 杉田 至弘 君 10月27日 杉田 至弘 君

《ソングリーダー》 細田 和広 君



農林水産省の研究の結果で100年後の秋刀魚の大きさが極端に小さくなるという記事が出ていました。産卵量が逆に増えるそうですが、味はどうなるのか気になります。

《会長挨拶要旨》 杉田 至弘 会長



今日は来賓卓話者に寺戸常剛さんをお迎えました。寺戸さんは静岡ロータリー在職25年の経験豊富なロータリアンです。再来年度2620地区のガバナー荻原英生さんの地区幹事を務められるということで、この世界では卓越した方です。後ほど「米山記念奨学事業について」の件で卓話を

頂きます。私の方からは10月14日のエンドポリオ撲滅運動街頭募金と18日の職場見学会の報告をさせていただきます。エンドポリオは昨日24日が「世界ポリオデー」ということですが、既に発症率が99.9%減少していることと、日本では馴染みがうすいこともあり今ひとつ盛り上がり欠けているというのが実感です。14日は小雨の中、杉山公共イメージ向上リーダーのもと11名の会員がけやき通りの街頭に立って頂きました。川口幹事が大きな身体と大きな声で「静岡東ロータリーです！子供たちに、ポリオのない未来を！」と募金を呼びかけ、主に家族連れや年配の方の募金が多かったと感じました。また松坂屋さんの社員の方も募金してくれました。街頭での募金と例会での募金を合わせ計48,918円が集まりました。年初の1人あたり30ドルの寄付と合わせると、216,918円となります。このお金で何万人もの子供たちの命が救われます。ご協力ありがとうございました。ポリオ撲滅運動もさることながら、ロータリー活動として効果を求めるならば市内13クラブ全員が同日同時にそろいのTシャツや幟をもってやった方が効果が上がるのではないかと感じました。



また職場見学会は一般公開日以外の見学はできない中で大山会員のご尽力により新幹線浜松工場を見学することができ21名の方に参加いただきました。1964年に開業した東海道新幹線はご存知の通り正確無比で大きな事故は全くないという世界に誇る新幹線です。昨日も2020年に向けた新型車両が公開され、非常時にはリチウム電池で走行できる世界初の技術を搭載しているそうです。感じたことは、高い専門性と優れた技術、そしてボルトなどの細心のチェックにより私たちの安全が確保されているのだと改めて感じました。大山会員本当にありがとうございました。なお他のロータリークラブからの見学要請はすべて断っているということなので、よろしくお願ひします。その後、美味しい鰻を食べた

り、うなぎパイの工場見学をして帰ってきたわけですが、この職場見学会も、毎年担当の方が工夫して魅力ある内容にしていますが、平日開催ということで現役バリバリの人たちは参加出来ないというのが実情です。この辺も日程や他クラブとの共同事業として検討するなど工夫が必要だと感じました。

《クラブ・フォーラム・米山》

「米山記念奨学事業について」

米山記念奨学委員 寺戸 常剛 様



昨年より地区の米山記念奨学委員を務めています。10年くらい前にはカウンセラーを2年やっておりました。東ロータリークラブにつきましては、本年2月26日にお亡くなりになった勝山さんは地区ガバナーのほか、2005年から13年にわ

たり米山記念奨学会の理事を務めてくださいました。2620地区にはかなり貢献された勝山さんのことを謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

米山記念奨学事業の始まりとしましては、1946年に米山梅吉氏が逝去され、1949年に日本のロータリーが国際ロータリーに復帰し、1952年には東京RCの古沢会長が、事業の構想を発表し、世界へ日本の友人を増やし、平和を実践する人材を育て、これからの日本をよくしたいということから、国際理解と親善への近道として米山基金を立ち上げました。1957年に全34地区の全国組織となり、1967年には財団法人設立となりました。今年2月4日に財団法人設立50周年を東京で行いまして約700人がお祝いしました。米山奨学事業は、日本のロータリー独自の事業であること、日本国内の外国人留学生を支援するものであること、そして他の奨学金制度と大きく異なるのが、世話クラブ・カウンセラー制度があることです。月初めの例会に奨学生に奨学金を手渡しすることで、奨学生にはロータリー活動にともに参加してもらっています。事業の使命としては、世界平和を願いながら、将来、日本と世界とを結ぶ架け橋となって、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものです。なぜ外国人留学生なのかということですが、東京RCが発案し戦後の荒廃期から平和日本をPRするためには留学生を支援し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという当時のロータリアンの思いが強かったと思います。2004年に国際ロータリー理事会で米山記念奨学事業を賞賛する決議がされました。これにより多地区合同事業としてRIに認定されロータリーマークの使用ができるようになりました。その後2014年のRI理事会で、米山の学友もロータリー学友の一員となりました。

奨学生は今年度で852人、これまでの64年間で累計20,396人が育っています。奨励金の種類としては、学部の方は10万円、博士課程の方は14万円です。本地区については、地区奨励、クラブ支援はやっていません。費用負担が可能なクラブがあればクラブ支援をすることは可能です。奨学生の決定と選考については全国統一の採用基準と地区だけの採用基準の二本立てです。将来の目標や交流への熱意、人

柄、コミュニケーション能力などが全国統一の採用基準です。本地区の選考目安として、国籍が偏らないこと、最終学年で支給期間が1年の学生を優先すること、原則として4月入学の学生を優先すること、日本語で意思疎通できること、ロータリー活動に積極的に協力することなどを指定校14校にお願いしています。10月15日に締め切り現在31名の推薦があり、12月後半に面接を行い選考したうえで、各クラブにお願いすることになります。本地区の今年度の奨学生は25人です。できる限り他の国も増やしていきたいと考えています。これまでの奨学生の中で、231人がロータリアンへ、3人がガバナーへ、中心となって設立したクラブが5つあります。その中でも本地区学友会のラシタ会長は甲府南RCの正会員になりました。彼は東京エレクトロンのSEですが、時間有給を活用して活動に参加しています。

今年7月に米山親善大使3名の方が交代し新しくなりました。地区大会、例会に呼ぶことは可能ですので、ぜひ声をかけていただきたい。本地区の学友会は2009年に静岡で設立総会が開催され、2019年3月に創立10周年を米山記念館で開催されます。これまでの事業の内容は地区大会でパネル展示されますので、ぜひご覧いただきたい。本地区の学友会は、2580地区とともに柿田川の清掃活動を行っており、今年で4年目になります。これまでの恩返しとして学友から奨学会への寄付は累計で3339万円となっています。中には毎年50万円寄付する方もいます。奨学生は3年前の寄付金によって人数が決まり、本地区は、来年は19名となります。寄付金額としては34地区中12番目となります。特別寄付者の割合は、本地区は68.3%で、全国平均よりも高い方となります。寄付金全体としては昨年よりも6千万円増となっています。寄付が増えればより多くの奨学生を採用できます。この東ロータリークラブでは、地区目標の16,000円を毎年入れていただいています。本日、米山功労者の表彰者もありましたが、やはり勝山さんがいたクラブだなと思っております。

9月に理事長が交代となり、斎藤直美氏が就任されました。東ロータリークラブでは、過去30年で11名の奨学生受け入れがありますが、この8年間ありませんので、ぜひ受け入れをお願いします。

《スマイル報告》

寺戸 常剛 様	本日の謝礼分はスマイルさせてもらいます。
古橋 剛俊 君	寺戸様の卓話に感謝しスマイル
望月 康弘 君	職場見学会に感謝しスマイル
川口 尚宣 君	職場見学会の大山会員のご尽力に感謝しスマイル
村松 重治 君	結婚記念日のお花に感謝
杉田 至弘 君	東ロータリー創立60周年に75歳の誕生日、金婚式を迎えることに感謝しスマイル
由利 浩志 君	結婚記念日のお花に感謝
宮崎 貴久 君	新車納車で由利さんに感謝

《出席報告》

時間の都合により割愛次週へ

(会報作成 宇田川 享)